

令和2年度 下川淵公民館運営推進委員会 第2回会議

日時 令和3年3月5日(金)

午前10時から

会場 下川淵公民館 会議室

次 第

1 開会

2 あいさつ 戸嶋 館長

3 議事 進行：小阿瀬 委員長

(1) 令和2年度下川淵公民館実施主催事業について

＊渡根木、名雪、石井、後藤、戸嶋の順でそれぞれの担当事業について説明
担当ごとに質問・コメント等を受ける

(2) その他

4 閉会

下川淵公民館運営推進委員名簿

令和2年7月1日現在

1 学校教育の関係者

No.	氏 名	役 職 名	委嘱期間
1	飯塚 敏雄	前橋市立第七中学校長	R2. 7. 1～ R3. 6. 30
2	松村 澄人	前橋市立下川淵小学校長	R2. 7. 1～ R3. 6. 30

2 社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者

No.	氏 名	役 職 名	委嘱期間
3	小阿瀬 義孝	下川淵地区自治会連合会長	R2. 7. 1～ R3. 6. 30
4	岡本 隆男	下川淵地区青少年健全育成会長	R2. 7. 1～ R3. 6. 30
5	青木 紀雄	下川淵地区社会福祉協議会長	R2. 7. 1～ R3. 6. 30
6	久保田 光明	下川淵地区民生児童委員協議会長	R1. 7. 1～ R3. 6. 30
7	中村 博昭	下川淵地区老人クラブ連合会長	R2. 7. 1～ R3. 6. 30
8	根岸 輝治	下川淵地区生涯学習奨励員連絡協議会長	R1. 7. 1～ R3. 6. 30
9	金井 俊夫	下川淵公民館自主グループ連絡協議会長	R1. 7. 1～ R3. 6. 30
10	笠原 幸代	下川淵地区保健推進員会長	R1. 7. 1～ R3. 6. 30

任期（委嘱期間） 令和元年7月1日～令和3年6月30日

※ただし、選出団体の任期終了により役員の改選が行われた場合には、その者の残任期間を委嘱期間とする。

令和2年度 下川淵公民館主催事業

1 子育て親子支援 担当:渡根木

YouTube 動画講座「親子のおうち時間」

(1) ねらい

- ①新型コロナウイルスの感染拡大により、在宅勤務や外出自粛、休校等自宅で過ごす時間が増えた小学生とその保護者を対象に、動画配信による講座を行う。自宅で行うことにより、感染防止対策を講じながら安心して講座を受講することができる。
- ②創作活動を保護者とふれあいながら楽しく行うことで、子供の創造力を高め、また、親子の絆を深めることを目的とする。

(2) 概要

- ①対象 市内在住の親子
- ②周知方法 地区内へのチラシ回覧、Facebook、市ホームページ

(3) 内容

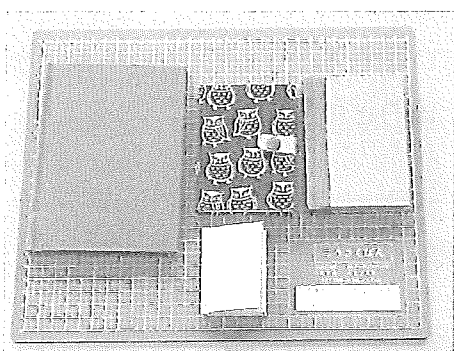
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(継承略)	組
1	動画を視聴しながら随時	おうちで簡単！ 親子で楽しく豆本作り	実習	前橋市立図書館 下川淵分館スタッフ	—
2	動画を視聴しながら随時	ガラス絵の具でステンド グラス風シール作り	実習	前橋市立図書館 下川淵分館スタッフ	—

(4) 評価と反省

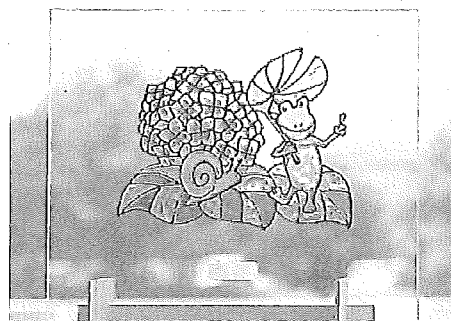
対面式の講座ではないため、実施状況を把握するために完成品の写真の送付とGoogleフォームアンケートの回答をお願いしたが、写真の提出は4組、アンケート回答は3組に留まり、オンライン講座の実施効果を検証する難しさを感じた。アンケートによると、オンライン講座そのものに対しては好意的な意見が多く、親子で参加できる講座があればまた参加したいとの意見もあった。動画での講座配信は、参加者が自分の予定に応じて講座に参加する時間と場所を調整できるという利点もあるため、今後は対象者の需要を把握した講座内容の選定を行いたい。また、オンライン講座では、参加者同士の横のつながりを感じ

じることが難しいため、題材や講師に地域色を出すといった工夫をして、公民館が動画講座を行う意義を見出していく必要があると感じた。ものづくり系の講座は、日時を指定して公民館に出向くことで作成に対するハードルが下がるのも利点だと思うが、オンライン講座の場合はそういった利点を活かすことが難しいため、今後も動画配信による講座を行う場合、自分で準備することが難しい材料等の提供を行うことができればよいと思う。

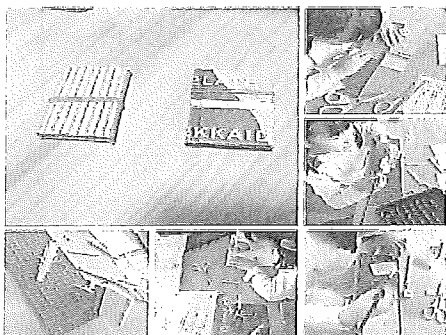
また、動画作成の際の注意点として、アクセシビリティの観点から字幕の設置が必須であると感じている。字幕を設置した際は、動画のタイトルに字幕がついていることを明記することで、障害を持つ人の参加の機会を広げる可能性があるという意見もあったため、動画作成の際には留意したい。



豆本の完成図



ステンドグラス風シールの見本



参加者が送付した完成作品と
制作中の様子の写真

『がんばれ』とは言わない！ 落ち込んでいる我が子への接し方

(1) ねらい

- ①不登校や自殺が増える時期に、気持ちが落ち込んでしまった子どもへの適切なかかわりについて学ぶ。

- ②簡単なストレッチを行い、子供をもつ親の心を“ほぐす”講義も行いながら、参加者同士のコミュニケーションを通して仲間づくりの支援も行う。
③地域在住の講師を活用し、学びの地域還元を進める。

(2) 概要

①対象 子育て中の保護者

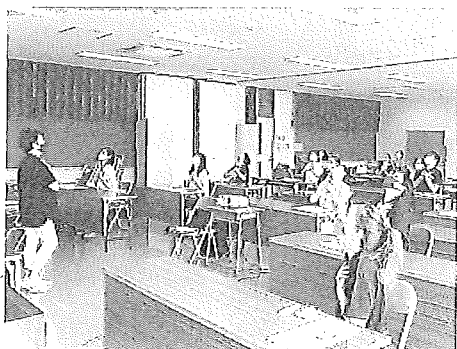
②周知方法 地区内へのチラシ回覧、Facebook、市ホームページ

(3) 内容

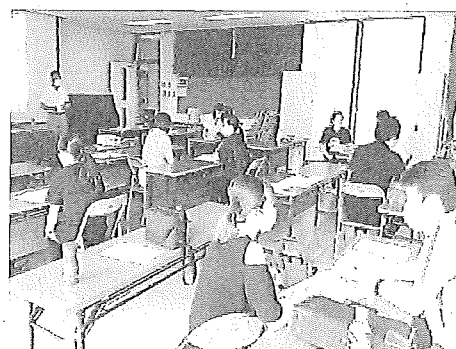
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(継承略)	人
1	8/22(土) 9:30~10:00	ココロがほぐれる 簡単ストレッチ	実習	日本子どもフィットネス 協会エクゼクティブディ レクター 神尾 直子	22
2	8/22(土) 10:00~11:00	ほっと コミュニケーション講座	講義	NPO 日本ゲートキーパー協会 大小原 利信	22

(4) 評価と反省

年齢も境遇も様々である保護者が集まったが、参加者全員に共通するテーマであり、皆集中してメモを取る様子が見られた。体を動かしながら講師の体験談を聞くことで、講師と参加者の心の距離も縮めることができ、和やかな雰囲気作りができたように思う。また、講義の最中は密を避けた工夫を取り入れながら複数回にわたるペアワークがあったが、皆積極的に意見交換する様子が見られた。ゲートキーパーという役割に興味を持つ参加者も多く、講座終了後には連絡先を交換する保護者の様子も見られたため、本講座の趣旨のうちの「仲間づくり」のきっかけになったのではないかなと思う。



ストレッチで身体をほぐす様子



ペアワークで活発な意見交換

「しもこうサロン～Enjoy Stay-Home Workout～」

(1) ねらい

- ①コロナ自粛のため自宅で過ごす時間が増え、閉塞感を感じている子育て中の保護者世代を中心に、自分のための時間の使い方としてストレス解消や身体づくりのためのフィットネスがあることを知ってもらい、心身の健康増進のきっかけづくりとする。
- ②子育てをする保護者や、これから子育てに関わっていく若者が集い交流する場を提供する。世代を越えたつながりや子育てを助け合える環境を地域の中で構築する一助とする。

(2) 概要

①対象 市内在住者

②周知方法 地区内へのチラシ回覧、Facebook、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(継承略)	人
1	10/9 (金) 19:00～20:30	脂肪燃焼エアロ& 筋トレ&ストレッチ	実習	AJYA全日本ヨガ協会 認定インストラクター 桑原 一美	22 (内 Zoom5)
2	10/16 (金) 19:00～20:30	自宅で出来る 筋力トレーニング	実習	Azit Gym 小林 翔太 他5名	27 (内 Zoom9)
3	10/23 (土) 9:30～11:00	脂肪燃焼エアロ &くつろぎヨガ	実習	AJYA全日本ヨガ協会 認定インストラクター 桑原 一美	14

(4) 評価と反省

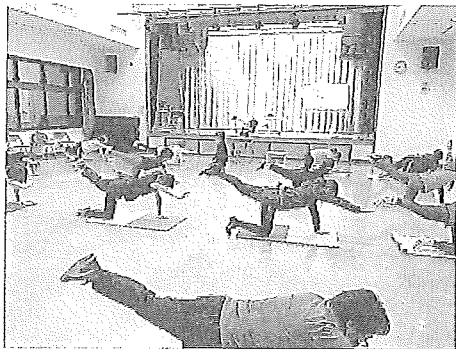
長く続く自粛生活で運動不足を感じていた参加者が多く、久々に運動するきっかけができた多くの参加者から好評だった。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から定員を減数し、子連れ参加も断ってしまったため、本来のターゲットである子育て中の保護者の参加は少なかった。

Zoom を用いて遠隔地からでも参加できるような形態をとったが、現地枠とオンライン枠を両方設けることは今後の講座企画においても有効であると感じた。満足度に関しては、オンラインでのアンケート結果の方が若干劣るものとなったが、これは音楽や動きに乱れが生じたことが大きな要因であると考えら

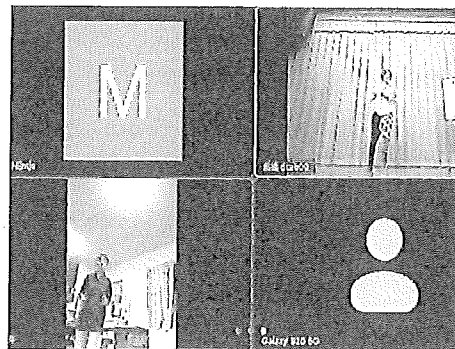
れる。今後オンラインでの講座を企画する際は、講座内容をより吟味し、オンラインでの配信に向いている内容を選定する必要があると感じた。

また、講座開催にあたっては食生活改善推進員がレシピ提供やお土産準備等尽力してくれた。コロナのためなかなか思うような活動ができない中で、地区食改の活動の場を提供できたことは幸いであった。

運動をしてみたいが、なにからやったらいいかわからず、なかなか手を出せないという人のためにも、今後公民館が身近な身体作り・健康づくり・仲間づくりの場として機能できるような講座を開催できればと思う。



間隔をあけて筋トレを实践



オンラインで受講した参加者の様子



食生活改善推進員からのお土産

時短片付け講座

(1) ねらい

- ①家で過ごす時間が増えている中、子育て中の保護者が片付けのコツを学び、快適な住環境の維持と心の健康を保つ支援を行う。
- ②父親の参加も募り、男女共同参画の意味からも家族での片付けの取り組みを促す。
- ③リサイクルに関する市の制度の一層の周知啓発を図る。

(2) 概要

①対象 子育て中の保護者（子供同伴も可）

②周知方法 地区内へのチラシ回覧、館報

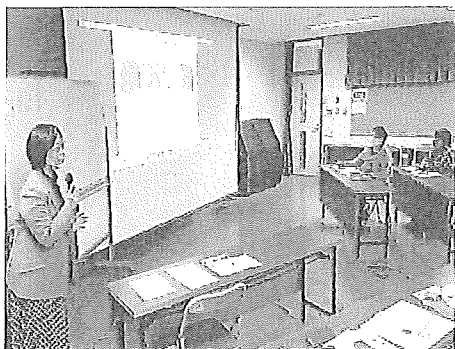
(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（継承	人
1	12/15（火） 18:45～20:45	・自分の部屋の分析 ・片づけられない理由の確認 ・物が増える理由 ・片付けのコツ ・片づけるもののイメージ ・まとめ	講義	整理収納アドバイザー 尾高理恵子	12

(4) 評価と反省

子育て中の保護者を対象に募集をしたところ、予想以上に60代以上の方からの参加希望が多かったため、やや対象を広げて受け入れを行った。講座内容は実践的な内容を中心とし、自分を振り返る場面もあり、すぐに役立つものであった。講師が生業においても行っているリモートでの片付けアドバイスは大変有効であると感じ、次回の講座の企画につながるとも感じた。

今回第七中学校の保護者にもチラシを配布したが、反響は大きくはなかったため、40代辺りの年齢層が足を運ぶ仕掛けをさらに考えていきたい。



熱心に講義を受ける受講者の様子

子育てサロンクリスマス会

(1) ねらい

①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。

②地区子育てサロンとの連携実施による地域交流を図る。

③地区子育てサロンの周知・利用者増加を目指すとともに、公民館が主催する子育て親子支援事業の参加者層のニーズを把握し、適切な子育て親子支援を提供するための情報を収集する。

(2) 概要

①対象 未就学児親子（地区外可）

②周知方法 地区内へのチラシ回覧、館報、子育てサロンでの周知

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（継承略）	人
1	12/24（木） 10:00～12:00	バルーンアートと 読み聞かせ	実習	子育てサロンスタッフ （民生児童委員） おはなしの会もこもこ 岡本 美由貴	中止

(4) 評価と反省

新型コロナウイルスの感染予防のため、2部に分けた完全予約制とし、人数制限を設けたうえで開催することになったが、新型コロナウイルスに対する県の警戒度が4に引き上がったことにより中止となった。チラシの回覧による募集と子育てサロンでの周知が主な広報手段であったが、地区内外の未就園児を持つ保護者から申し込みがあり、子どもと一緒に参加できる講座・イベントの需要の高さを感じた。今後も、保護者の悩みや需要を把握し、親子向け講座の内容の充実を図るとともに、地域交流のきっかけの場を提供したい。

親子のワクワク体操～心と身体のふれ合いエクササイズ～

(1) ねらい

①同年代の子どもを持つ保護者同士が集い、地域社会の仲間作りの場として交流する機会とする。

②親子で一緒に身体を動かし、子どもの特性に向き合う。

③生活の中に手軽にできる運動を取り入れることで、健康を増進する。

④新型コロナウイルス蔓延によって自宅で閉塞感を感じている親の気持ちをリフレッシュする。

(2) 概要

①対象 3か月～1歳の子と保護者（地区外可）

②周知方法 地区内へのチラシ回覧、館報、市HP

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(継承略)	組
1	3/17 (木) 10:00～11:30	①親子のワクワク体操 ②プチ・お悩み相談室	実習	神尾 直子 (日本こどもフィットネス協会 エグゼクティブ ディレクター)	6

(4) 評価と反省

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かない中でも、地域の親子が前向きに取り組むことができる講座ということで企画した。外出を自粛している家庭の人でも安心して参加できるよう、公民館に直接来館する方法と、講師の様子をZoomで配信するオンラインの方法のどちらかを参加者が選択できるよう設定した。

片付けお茶会オンライン

(1) ねらい

- ①家で過ごす時間が増えている中、子育て中の保護者が片付けのコツを学び、快適な住環境の維持と心の健康を保つ支援を行う。
- ②コロナ禍の中、子育て世代の保護者同士の交流の機会とする。。

(2) 概要

- ①対象 子育て中の方(一般も可)
- ②周知方法 館報、市HP

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(継承略)	人
1	2/25 (金) 10:00～11:30	・片付けのコツ ・片付けの悩みについて 交流 ・まとめ	講義	整理収納アドバイザー 尾高理恵子	6

(4) 評価と反省

新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かない中での企画であったが、6名の方に参加いただけた。小さいお子さんがいる世代は3名だったため、子育て世代が参加しやすくなるテーマの講座を企画していきたい。

2 青少年体験・チャレンジ活動

下川淵子ども体験教室【夏休み】 担当:戸嶋・石井

(1) ねらい

①昨今減少傾向にある「体験・チャレンジ活動」の場を提供し、次代の新たな担い手となる子どもたちの好奇心や創作心・生きる力を養うこと。

②学校・家庭とは異なる気付きや学びを得てもらい、子どもたちの視野を広げること。

③講座を通して、小学生が公民館に集う機会とすること。

④地域の人材を活用し、知識の地域還元を図ること。

(2) 概要

小学生（内容により学年制限あり）を対象に実施

手品に挑戦！マジック教室 小学4年生～6年生15人

みんなで描こう！絵画教室 小学生15人

書いてみよう！読書感想文教室 小学3年生～6年生15人

俳句でつぶやこう！俳句教室 小学生15人

(3) 内容

①手品に挑戦！マジック教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	8/1(土) 10:00～11:30	手品の鑑賞と講師の指導による「マジック教室」	実演 実習	ワンダー吉井	9

②みんなで描こう！絵画教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	8/1(土) 13:30～16:00	みんなで、夏休みの宿題の絵を描く「絵画教室」	講義 実習	岡本 美由貴	18

③書いてみよう！読書感想文教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	8/2(日) 10:00～11:30	みんなで宿題の読書感想文を書く「読書感想文教室」	講義 実習	清水 誠	17

④俳句でつぶやこう！俳句教室

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	8/2(日) 13:30～15:00	俳句の基礎を学び、実際に俳句を書いてみる「俳句教室」	講義 実習	真中 てるよ	9

(4) 評価と反省

①手品に挑戦！マジック教室

種明かしを知ったうえでいかに演じるかが手品。手先が器用でないと難しい一面もあるが、講師の説明を聞きながら取り組み、コツをつかめると、子どもたちは嬉しそうにしていた。習った手品を家でも練習し、家族や友達に披露してコミュニケーションのきっかけづくりにしてもらいたいと思った。

②みんなで描こう！絵画教室

夏休みの最初の日であったが、定員を上回る申し込みがあったため、受け入れ人数を増やし、新型コロナウイルス感染症の対策を講じながら実施できる人数を受け入れた。

子どもたちは、講師にアドバイスしてもらい、熱心に集中して取り組んでいた。家庭や学校とは違う環境で集中する機会が持てて良かったと感じた。

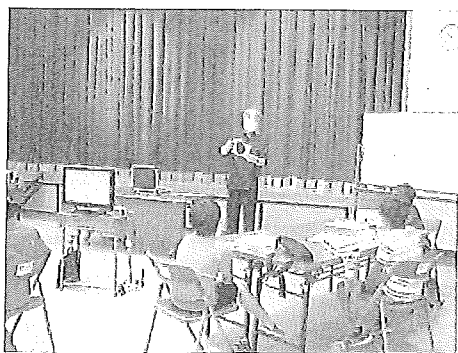
③書いてみよう！読書感想文教室

昨年に引き続き実施した。清水講師の協力者として3名の教員経験者の方に来ていただき、きめ細やかな指導を行うことができた。

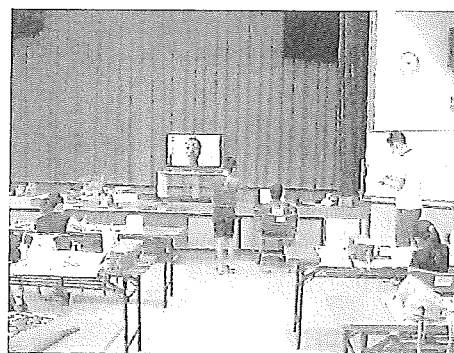
講師と対話しながら自分の想いを一つ一つ言葉にしていく作業に熱心に取り組む様子が印象的であった。

④俳句でつぶやこう！俳句教室

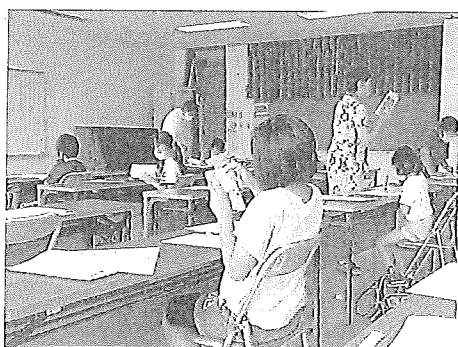
講師も初めての取り組みで、試行錯誤の部分もあったが、参加者それぞれの作品もできあがり、俳句に触れることはできた。作品は、講座後に公民館ロビーに展示を行った。



マジック教室の様子



絵画教室では下小校長先生がリモートで子どもたちを激励してくれました



読書感想文教室の様子



俳句教室の様子

下川淵子ども体験教室「しもこうキャリアシリーズ」

担当：戸嶋・石井

(1)ねらい

- ①昨今減少傾向にある「体験・チャレンジ活動」の場を提供し、次代の新たな担い手となる子どもたちの好奇心や創作心・生きる力を養う。
- ②地域の会社、店舗等で働く人の話を直接聞き、体験することで子どもたちの視野を広げ職業観を育むとともに、地域づくりの一助とする。

(2)概要

小学生（内容により学年制限あり）を対象に実施。

- ①「こどもエンジニア体験」小学生16人
- ②「お菓子作りの話」小学生15人
- ③「アパレルショップ体験」小学4年～6年生10人
- ④「新聞記者の話」小学4年～6年生12人

⑤ 「お菓子工場見学」 小学3年～6年生15人[中止]

⑥ 「花火職人の話」 小学生15人[中止]

(3) 内容

回	月・日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	①10/4(日) 13:00	こどもエンジニア体験 エンジニアウェアを着てタイヤ交換の体験と自動車整備士による話、質疑応答	講義 体験	群馬トヨペットスタッフ	27
1	②10/10 (土) 10:00～12:00	お菓子作りの話 バームクーヘンの材料、製造過程の講義やオリジナルお菓子の考案	講義	ももみ堂スタッフ	19
1	③11/28 (土) 9:00～12:00	アパレルショップ体験 ジーユーにおける職場体験	講義 体験	ジーユーパワーモール前橋みなみスタッフ	11
1	④12/12 (土) 10:00～11:30	新聞記者にきいてみよう 上毛新聞社デスクによる新聞記者体験	講義 体験	上毛新聞社スタッフ	13
1	⑤1/6(水) 13:30～14:30	お菓子工場見学	講義 体験	清月堂スタッフ	中止
1	⑥1/16(土) 10:00～11:00	花火職人の話	講義 体験	上州花火工房スタッフ	中止

(4) 評価と反省

①こどもエンジニア体験

自動車整備士の仕事の一部を体験した。楽しみながら学習し、仕事について考える機会になったと思う。募集人数を越えて申し込みがあったため、講師と相談して4班に分けて実施した。少人数の班ごとに体験とすることで、待ち時間及び新型コロナウイルス感染症の対策とした。

②お菓子作りの話

地域にある菓子店に協力いただき店長から、スライドを使いながら、お菓子の種類や製造過程を学び、オリジナルのお菓子のアイディアも考えてもらった。キャリア教育を進めるとともに郷土愛を育む一助となったと思われる。

③アパレルショップ体験

地域にある「GUパワーモールみなみ店」に協力をいただき、人数を絞って職場体験を実施した。3時間の体験であったが、店舗での実習に加え、接客における心構えや企業理念などを学ぶとともに、洋服の製造過程やリサイクルの重要性も学び、キャリア教育の推進が図られた。

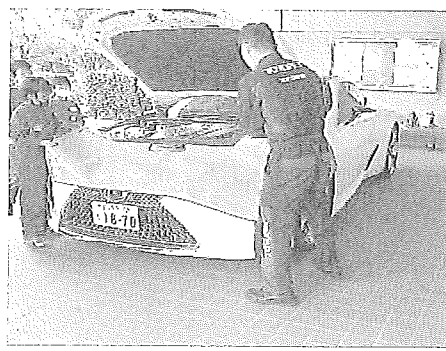
④新聞記者に聞いてみよう

スライドを見ながら新聞記者の仕事等について学んだ後、模擬取材の体験をした。質問の仕方やメモの取り方のコツを新聞記者の講師から直接学んだ子どもたちは、取材体験の時に早速実践していて、熱心に質問し、たくさんメモを取ることができた。

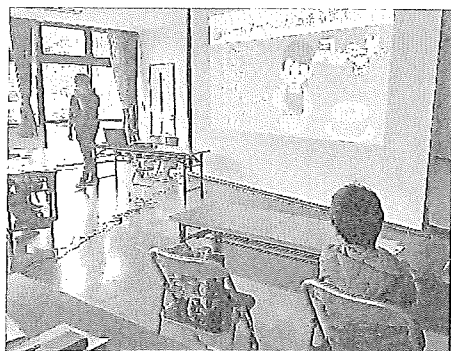
学んだことをすぐに実践できることは、復習にもつながり有意義だと感じた。また、仕事について考える機会になった。



こどもエンジニア体験の様子



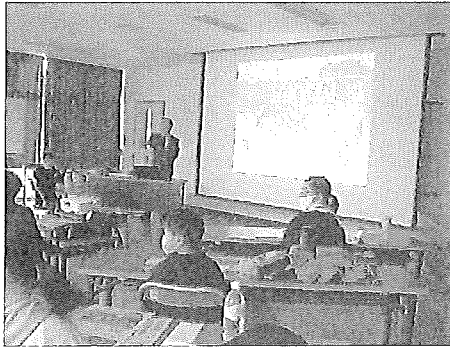
講師の整備士から直接学ぶ様子



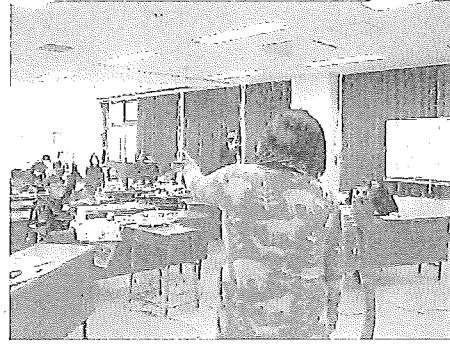
「お菓子作りの話」の様子



「アパレルショップ体験」
の様子



新聞記者に聞いてみようの講義の様子。



新聞記者に聞いてみようの取材体験の様子

「初級プログラミング教室」 担当:戸嶋

(1) ねらい

- ①地域の小学生がプログラミングに触れる機会とする。
- ②地域に所在する教育機関の優れた人材を活用し、知識の地域還元を図る。
- ③学校教育を補完する形で、地域で子どもたちの学習支援を行い、教員の負担軽減の一助とする。

(2) 概要

①対象

地区在住小学生10人

②募集方法 館報掲載・館内掲示・ホームページ掲載

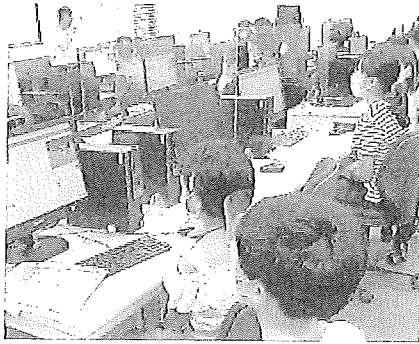
地区小学校該当クラスへのチラシ配布

(3) 内容

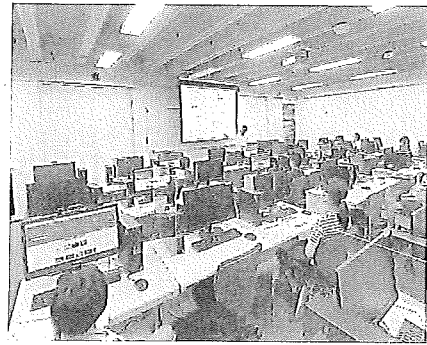
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	9/5(土) 10:00~11:30	初級プログラミング教室 in前橋工科大学	体験	前橋工科大学 福地佐斗志教授	10

(4) 評価と反省

大学教授および学生に協力いただき、大学でプログラミング教室を開くことができた。今後も継続して大学と連携しながら事業を進めていきたい。可能であれば、次年度からプログラミングが小学校で必修となることもあり、継続して複数回実施できるようになれば、地域の子供たちの一層の学習支援となると思われる。



学生による指導の様子



教室の様子

「下川淵公民館 寺子屋事業」 担当:戸嶋

(1) ねらい

- ①地域の中学生等に対する学習の支援と居場所づくりを行う。
- ②大学生が事業を企画立案し実施することで学生自身の地域貢献、成長の機会とする。
- ③教員の負担軽減と地域づくり推進の面から地域で子どもを育てる仕組みづくりの一助とする。

(2) 概要

①対象

夏休み寺子屋 中学生（協力者として大学生）
 寺子屋野外授業 小中学生（協力者として大学生）

②募集方法 地区小中学校へのチラシ配布

(3) 内容

①夏休み寺子屋

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	延べ人数
1	8/17(月) ～21日(金) 9:00～16:00	自主学習を中心とした学習	自習	教員0B、大学生2名	81人 延べ参加人数(午前午後別計上)

②寺子屋野外授業

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	延べ人数
1	11/8(日) 9:00～13:00	野外における炊き出し体験	実習	地域ボランティア 大学生8名	小学生8人 中学生5人

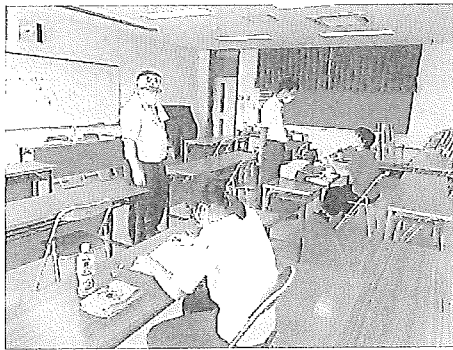
(4) 評価と反省

①夏休み寺子屋

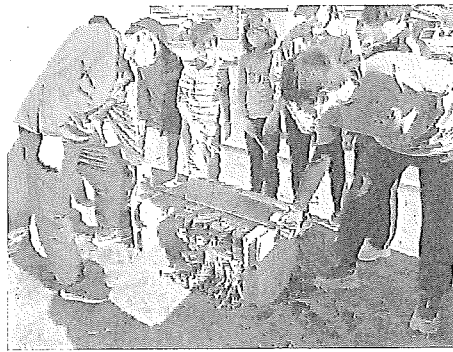
公民館を会場に、大学生等に協力を依頼し、自習を中心とした学習支援を行うことができた。5日間を通じ多くの中学生が参加したことに加え、大学生や地域ボランティアが主体的に企画から指導まで携わり、地域を中心とした支援を行うことができた。

②寺子屋野外授業

コロナ禍で、例年実施しているインリーダー講習の代替事業として実施したが、従前対象としている小学生に加え、中学生ボランティアにも参加してもらうとともに、大学生や地域ボランティアによる実行委員会を組織し、事業実施を行うことができた。



学生の指導の様子



飯ごう炊爨の様子

下川淵公民館報掲載講座 紙上講座 担当:石井

「簡単工作～牛乳パックブーメランを作ってとばそう！」

(1) ねらい

- ①主学生向けに自宅でできる簡単工作の情報を提供する。
- ②自分で作ったもので遊ぶ体験をとおして、子どもの好奇心や創作心を養う。
- ③リサイクル工作をつくることで環境について考えるきっかけとする。

(2) 概要

地区内小学生を対象に実施

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	6月15日号 館報掲載	紙上講座 牛乳パックの再利用による工作として、ブーメランの作り方を館報に掲載して紹介し、各自、自宅で学習する	自宅学習	なし	**

(4) 評価と反省

新型コロナウイルス感染症の影響で日常生活も制限される場面が多い中、小学生対象に簡単工作の情報を提供した。

内容は、家庭で簡単に手に入る材料で作ることができ、ちょっとした空き時間に作って遊べるようなものとした。

情報発信のみのため、感想などの反応が分かりづらいことに効果測定の難しさがあると感じた。

下川淵子ども体験教室 紙上講座 担当:石井

「おうちでつくろう! 高校生のレシピで調理実習」

(1) ねらい

①新型コロナウイルス感染症の防止対策のため調理実習というかたちで講座を実施することが難しい中、小学生が自宅でできるレシピを提供する。

②調理実習の体験をとおして、子どもたちの好奇心、創作心、生きる力を養う。

③家庭内のコミュニケーションを深めるきっかけとすること。

(2) 概要

地区内小学生を対象に実施

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	資料提供	人数
1	8/1(土)～ 8/23(日)	紙上講座 小学生が自宅でできる調理実習のレシピを群馬県立前橋南高等学校料理研究部に提供してもらい、小学1～2年生は保護者と一緒に、小学3～6年生は保護者見守りのもと各家庭で調理実習を行う。	調理実習	料理レシピ提供 群馬県立前橋南 高等学校 料理研究部員	**

(4) 評価と反省

講座の期間を小学生の夏休み中に設定し、夏休み終了後の9月11日(金)までに「調理実習連絡票」を提出してもらうよう講座案内と一緒に配付した。

期間中、2人から連絡票の提出があり、とても熱心に取り組んでいただいた内容が伝わってくるものだった。

ただ、提出された連絡票は、想定より少ない結果だったため、連絡方法を多様にする等の工夫が必要だったと難しさを感じた。

下川淵公民館クリスマスコンサートオンライン 担当:戸嶋

(1) ねらい

- ①生徒の主体性と自主性を尊重したイベントを開催することにより、公民館活動や地域貢献に対する関心や参加意欲を高める。
- ②コロナ禍で通常開催が難しい中においても、オンラインでのコンサート実施を通して地域との絆を深める。

(2) 概要

- ①対象 地区住民
- ②募集方法 館報掲載・館内掲示
ホームページ、自治会回覧、小中学校全クラスへのチラシ配布

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	出演者	人数
1	12/20(日) 13:30~14:30	・前橋南高校吹奏楽部による オンラインコンサート ・Web会議システムを使い、学 校での演奏を公民館ホール で視聴するもの	吹奏楽 演 奏	前橋南高等学校 吹奏楽部39名 顧問1名	中止

(4) 評価と反省

コロナの影響で中止となったが、Web会議システムを使った方法でのリハーサルができたため、再度時期を見ながら実施したい。

YouTube 動画講座「funfun キッズダンス」 担当:戸嶋、渡根本

(1) ねらい

- ①自主グループの講師に依頼し、公民館活動を知ってもらう機会とする。
- ②自宅で過ごす時間が多い中、子供たちが自宅で動画を見ながら

ダンスに取り組み、心身の成長及びフレッシュを図る。

③家族と一緒にダンスに取り組むことで、家族間の絆づくりの機会とする。

(2) 概要

①対象 小学生から成人まで

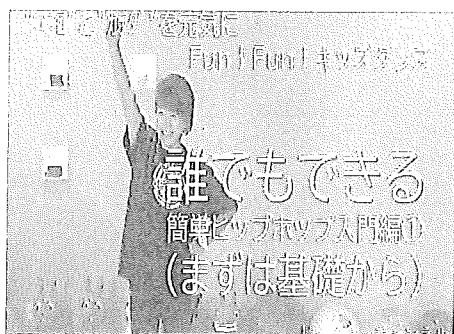
②周知方法 地区内へのチラシ回覧、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方	講師・協力者（継承略）	人数
1	動画を視聴しながら随時	誰でもできるヒップホップ(入門編・理済みトレーニング編・実践編)	視聴・実習	神尾直子 ダンスインストラクター (自主グループ「チップス」講師)	**

(4) 評価と反省

動画を視聴する講座で、アンケートを10名から回収し、その他口頭での聞き取りで数人から感想を聞くことができた。動画は、おおむね好評であり、「家族でやってみた」「少し難しかった」などの意見があった。今後は対面式の講座へ繋げられるようにしていきたい。



小学生のオンライン交流会「全国大冒険」 担当:戸嶋

(1) ねらい

- ①コロナウイルスにより様々な体験活動が減少している中、オンラインで様々な地域の子供達と主体的に交流し視野を広げる契機とする。
- ②相手先の地域を知るとともに、自分たちの郷土の特徴を紹介することで郷土の良さを学ぶきっかけとする。

(2) 概要

①対象 下川淵学童保育所利用小学生 交流会1回3名程度

(3) 内容

回	月日・時間	交流先	学習方法	内容	人数
1	2/12 (金) 16:30~17:00	鹿児島県鹿屋市花岡地区 公民館	オンライン 交流	自分たちが住む地域の 紹介など	10
2	2/18 (木) 16:30~17:00	福井県福井市清明公民館	オンライン 交流	自分たちが住む地域の 紹介など	

(4) 評価と反省

最初こそ、スムーズなコミュニケーションができなかったが、次第になれば、「またやろうね」というやり取りが生まれていた。3月についても3回の交流会を計画しており、今後もつながりを全国に広げながら、継続していきたい。オンラインでの取り組みを小学生のみならず、中学生や高校生、大学生や社会人にも協力をいただきながら、公民館をハブとした交流活動を進めていきたい。



交流の様子

3 生涯学習奨励員活動支援 担当:後藤

(1) ねらい

- ①生涯学習奨励員が、地域での生涯学習活動を進め、また地域住民の学習要求を的確にとらえ、事業に反映できるよう知識等の向上を図る。
- ②生涯学習活動に不可欠な自治会との連携及び協調関係を深める。

(2) 概要

下川淵地区生涯学習奨励員及び自治会長を対象に実施

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1		前橋市生涯学習奨励員実践研究会 第2ブロック 記録集(平成25年度～令和元年度) 令和2年8月配布	自主研修		14
2		下川淵カルタの活動記録集 下川淵カルタの誕生からカルタ三兄弟までの歩み 令和3年1月配布	自主研修		28

(4) 評価と反省

例年の研修では、市外研修と座学講習を行っている。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、研修に参加する生涯学習奨励員と自治会長と協議した結果、いずれの研修も見合わせた。

本年は、これ機会にこれまでの活動記録を振り返り、経済活動再開後の地域づくりと生涯学習への取り組みへの参考としてもらうため、活動記録をまとめ、配付して自主研修とすることとした。

第1回目は、本地区と近隣地区の活動記録が分かる実践研究会の会議録と発表資料を平成25年度から令和元年度までまとめ、生涯学習奨励員へ配布した。新任の生涯学習奨励員は2年目であり、活動と経験不足が考えられるので、「身近な学びで町づくり」をテーマとした記録を学習していただき、今後の自治会との連携にご活用いただくことを目的とした。第2回目は、本地区の生涯学習奨励員が中心となって普及活動をしている「下川淵カルタ」の誕生から諸行事の記録をまとめた。次年度以降については、自主研修のみでなく、研修時期や方法を見直し、研修対象者が参加できるような準備を整えることとしたい。

4 自主学習グループ支援 担当:渡根木

(1) ねらい

- ①下川淵公民館を利用して文化やスポーツ等の学習活動をしている自主グループの会員が、互いに学び合い交流を深める。
- ②より良い生涯学習活動や地域文化の向上について考える場とする。
- ③地域住民が自主グループの活動を知る機会とし、下川淵地区の地域づくり推進の一助とする。

(2) 概要

対象

下川淵公民館自主グループ会員及び地区住民

(3) 内容

実施なし

(4) 評価と反省

例年、下川淵公民館では自主学習グループ連絡協議会（以下、連協）が地区住民や連協会員を対象とした研修会を年四回程度主催し、事務局が支援を行っているが、今年度は、新型コロナウイルス感染予防の観点から人を集める形態での研修が困難であると役員会で判断し、連協としての活動及び支援事業は全面的に中止した。

次年度以降については、研修会以外の自主学習グループ支援の方法について検討し、自主学習グループ活動の活性化につながる支援に取り組んでいきたい。

5 学びあい・人権・地域ふれあい

暮らしの学びあい講座「普通救命講習会」担当:名雪

(1) ねらい

- ①傷病者の発生や災害などの不測の事態に備える。
- ②適切な応急手当の知識および技術を学ぶ。

(2) 概要

下川淵地区住民(中学生以上)を対象 館報および地区内回覧チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	6/21(日) 13:30~16:30	応急手当の基礎知識に関する実技指導体験を伴う学習。 講習終了後、参加者に「普通救命講習修了証」を交付する。 ※平成25年度から継続して実施しているもの	講義・実習	前橋市消防局 南消防署 隊員	中止

(4) 評価と反省

5月上旬に講師を依頼した南消防署より、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催不可との連絡があり、やむを得ず中止となった。

館報やチラシによる参加者募集前だったため、中止の周知は特になし。

あらためて次年度に計画実施したいと思う。

暮らしの学びあい講座「紙上講座①② 簡単な運動と折り紙の紹介」

担当:名雪

(1) ねらい

①外出自粛状況の中、自宅でできる学習情報を提供。

→自ら学ぶ習慣を継続することの手助けとする。

②高年者等に向けて体力維持の簡単な運動の紹介。

→カラダを動かすきっかけづくりとする。

③子ども等に向けて実習型の折り紙づくりの紹介。

→アタマを動かすきっかけづくりとする。

(2) 概要

下川淵地区住民を対象 チラシ毎戸配布による地区住民の自宅学習

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	5/15HP掲載 5/15 館報掲載 6/ 1 チラシ 毎戸配布	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公民館に集い、学習することが出来ない状況の中、地域住民へ自宅で出来る学習機会を提供するため、紙媒体を通じて情報を紹介するもの ※簡単な運動(肩回りのストレッチと筋力トレーニング)と折り紙あそび(カブト)の紹介	自習	前橋市健康増進課 (運動記事の提供)	—
2	6/ 1HP掲載 6/15 館報掲載 6/15 チラシ 毎戸配布	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公民館に集い、学習することが出来ない状況の中、地域住民へ自宅で出来る学習機会を提供するため、紙媒体を通じて情報を紹介するもの ※簡単な運動(足踏み運動と腹筋運動)と折り紙あそび(跳ねるカエル)の紹介	自習	前橋市健康増進課 (運動記事の提供)	—

(4) 評価と反省

事前に職員に試してもらったところ好評だった内容だが、配布した地区住民の反応がわかりづらいことに対面しない紙上講座での効果測定の難しさがあった。

公民館の利用が再開した後、自主学習グループなどから紙上講座について感想を聞いてみたところ概ね好評だった。

地域ふれあい講座「知的書評合戦～第3回下川淵ビブリオバトル～」

担当:名雪

(1) ねらい

- ①本を通して地域のコミュニケーションを高める。
- ②読書の楽しみを共有し世代を超えた交流の機会とする。

(2) 概要

下川淵地区住民を対象（地区外でも可）

館報および地区内配布チラシの他、上毛新聞やFMぐんまなど募集PR

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	7/11（土） 14:00～15:30	読書の楽しみを共有する手段として関心を集めているビブリオバトルを通し、地域のコミュニケーションを高め、世代を超えた交流の機会とするとともに自主的・自発的な読書活動の推進を図る。 前年度からの継続開催。	体験	特になし	30

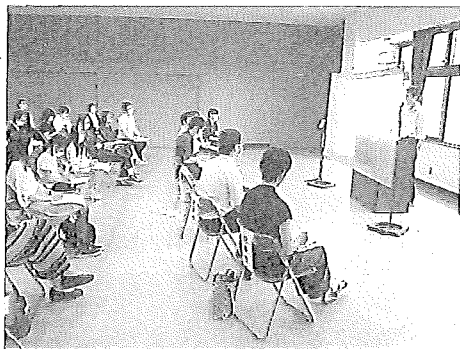
(4) 評価と反省

去年から始めた事業の3回目。少しずつ認知されてきたようで、高校生が3人参加してくれた。ただ、下川淵地区からの発表者が少なかったのは残念だった。

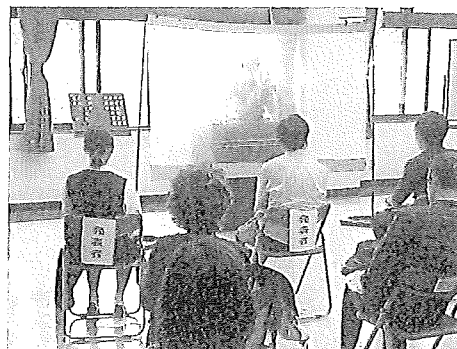
今回は県外からの参加者があり、SNSによる情報発信の成果だと思った。

また、上毛新聞が取材に来てくれたので、次回に向けてのPRにもつながると思う。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、換気と消毒に気を使い、観戦者の席間を空けたり、発表者はビニールシートで区切った。去年とは雰囲気の異なる状況だったが、何度か参加した方も、今回初めて参加した方も「本」を通じたイベントを楽しんでいた様子が伺えた。地域での知名度を上げて読書習慣の普及啓発を図るため、継続することが重要だと考えるので、参加者や本のジャンルを絞るなど方法を工夫して、また12月に実施したいと思う。



観戦者の間隔を空けて換気も徹底



ビニールシートで発表者を区切る

暮らしの学びあい講座「火災予防講習会」担当:名雪

(1) ねらい

- ①火災予防対策を学び、防災意識を高める。
- ②火災の初期消火を体験し、現場での対応力をつける。

(2) 概要

下川淵地区住民(中学生以上)を対象 館報および地区内回覧チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	9/5(土) 9:45~11:15	住宅の火災予防対策や火災がおきた際の初期対応などを学ぶ。また、AEDを実際に体験し、救急救命への対応力をつける。	講義・実習	南消防署地域安全係 早川哲史係長	14

(4) 評価と反省

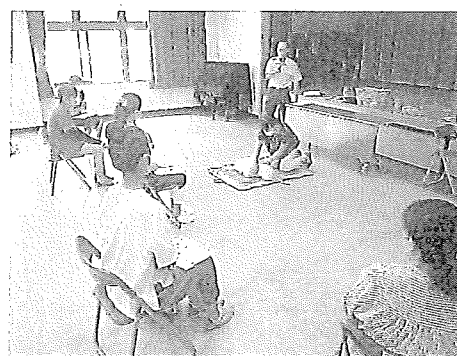
当日はまず初めに、地震などに対する防災や火災予防について、個人が行う対策や心構えを中心に、タブレットによる動画確認などを行いながら、わかりやすい講義をしていただいた。

後半は、救命救急について体験を加えながら行った。脳卒中症状の確認の仕方やAEDの使い方など、救急隊員の実体験を交えながら教えていただいた。救命措置全般の体験は出来なかったが、心肺蘇生法については消毒を行いながら数名の方に体験してもらえた。

新型コロナウイルス感染防止のため、参加者にはマスク着用をお願いし、参加者同士の間隔を2m以上空けたり、ホールの換気・消毒を行いながらの実施となったが、みなさん協力的で特に混乱もなく講習会ができたことは良かったと思う。



南消防署職員による講義の様子



人形を使った心肺蘇生法体験の様子

暮らしの学びあい講座 初心者向け「Zoom 体験講座」 担当:名雪

(1) ねらい

- ①新型コロナ禍でオンラインの活用が広がる中、ビデオ会議アプリの代表格である Zoom を体験してもらう。
- ②オンライン会議など地域活動への活用の一助とする。
- ③新しい学びを通じて生活の利便性向上につなげる。

(2) 概要

下川淵地区住民を対象 館報および地区内配布チラシで募集

(3) 内容

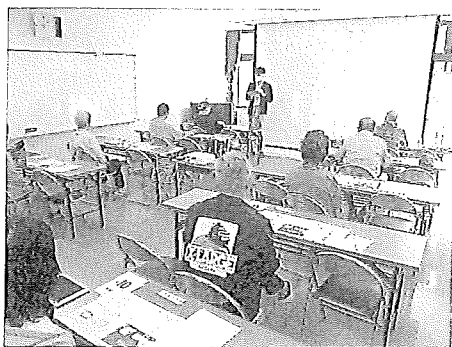
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (数称略)	人数
1	10/30 (金) ①10:00～11:30 ②14:00～15:30	新型コロナ禍によりオンラインを活用した交流や活動が急速に広まっている。新たなコミュニケーションツールのひとつである Zoom を体験し、自身の生活や地域活動に活かしてもらう。	講義	(株)ジーシーシー スタッフ 小平悠介 他、1名	各 10

(4) 評価と反省

コロナ禍でオンラインの繋がりが広がる中、代表的なアプリである Zoom を実際に体験していただくことをメインにした講座を企画。3密を避けるために定員を10人と少なく設定した。講座の募集を開始してから、わずか半日で定員になったもので、参加者の関心の高さがうかがえた。

当日はまず初めに複数の方が画面内にいる状態で、自己紹介などを行い、多くの方が同じテーマで顔を見ながら会話をする Zoom の使い方を体験していただいた。その後、アプリの特徴や会議の招集、参加の仕方などを学び、最後には自分でログインしてビデオ会議に参加していただき、積極的にタブレットを操作して Zoom のいろいろな機能を体験していただいた。スマホより大きいタブレットを用いたことで、その特徴が実感できたと思う。

実際の使用環境を再現するため、別々の部屋に分かれて操作体験をしていただいたので、オンラインの便利さを実感していただけたと思う。また、感染予防対策としてマスク着用や換気と消毒に注意しながらの講座であったが、参加者の協力で無事に実施できて良かったと思う。



間隔を広くとり換気しながら講義



Zoom の楽しさを学びました

地域ふれあい講座「知的書評合戦～第4回下川淵ビブリオバトル～」

担当：名雪

(1) ねらい

- ①本を通して地域のコミュニケーションを高める。
- ②読書の楽しみを共有し世代を超えた交流の機会とする。

(2) 概要

下川淵地区住民を対象（地区外でも可）

館報および地区内配布チラシの他、上毛新聞やFMぐんまなど募集PR

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	12/6（日） 10:00～11:30	読書の楽しみを共有する手段として関心を集めているビブリオバトルを通し、地域のコミュニケーションを高め、世代を超えた交流の機会とするとともに自主的・自発的な読書活動の推進を図る。 前年度からの継続開催。	体験	特になし	30

(4) 評価と反省

去年から継続して実施している事業の4回目。今回は時間を日曜日の午前中に設定して行った。少しずつ認知されてきたようで、今回は市内の参加者が多かった。また、上毛新聞を見て情報を得た方もあり、各メディアに対するPRの効果もあったと思う。

前回に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、部屋の換気と消毒を徹底し、参加者の席間を空けて、発表者の前にはビニールカーテンをつけた。ディスカッションでは、マスクのせいで聞きづらい場面もあったが、コロナ禍にあっても工夫して、事業を無事に実施できたことは良かったと思う。

市立図書館でもビブリオバトルが行われ、新しく参加していただける方も増え市民の読書習慣の普及啓発につながっていると考え、これからも継続して実施していきたいと思う。



間隔を空けて換気をしながら実施



初めて、絵本の紹介がありました

暮らしの学びあい講座「花と緑の講座～フラワーリースづくり～」

(1) ねらい

- ①地域の方々の交流を通じて環境について考え、各町の花づくりに役立てる。
- ②地域づくり推進協議会等と協力して、住民が自ら地域づくりに参画できる一助とする。

(2) 概要

下川淵地区住民を対象 館報および地区内回覧チラシで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	3/16 (火) ①13:30～ 14:30 ②15:00～ 16:00	・春の花の寄せ植え ・花と緑を通じて、地域の人 同士のつながりを深める ※下川淵地区地域づくり推進 協議会および花結びの会と共 催で行うもの	講義・ 実習	篠崎あゆみ	各 12

(4) 評価と反省

去年は新型コロナの影響で中止になった毎年恒例の事業。今回も募集開始から10日間あまりで定員を満了した人気の講座である。密を避けるため、定員を半分にして2回に分けて、換気対策を十分に行いながら実施する予定である。

地域ふれあい講座「下川淵人形劇フェスティバル

(下川ぶちにんぎょう寄席 2020)」担当:石井

(1) ねらい

- ①地域の大人から子どもまで人形劇を通して出会いの場を作る。
- ②大勢の人と同じ空間を共有して生の舞台の臨場感を体験することにより、子どもたちの豊かな感性、表現力及び創造力を育む。
- ③参加者の主体性を尊重したイベントで公民館活動の活性化を図り、公民館活動に対する関心や参加意欲を高める。
- ④人形劇を地域文化として根付かせ、地域住民の交流やつながりを深め、住民主体の地域づくりにつなげる。

(2) 概要

- ①対象 下川淵地区住民
- ②周知方法 館報掲載、ホームページ掲載、館内掲示、フェイスブック掲載、回覧、地区内幼稚園・保育所・小学校各クラスへのチラシ配布

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	4/12 (日) 10:30~13:10	① 人形劇ステージ ② 模擬店	見学・体験	下川ぶちにんぎょう寄席 実行委員会	中止

当初、令和2年4月12日(日)午前10時30分から午後1時10分までとして実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を踏まえ、来場者及び関係者の健康と安全を考慮し、期日未定で延期としていた。

その後、同感染症の終息が見込めない状況の中、3月までの実施は難しいことから中止とした。

暮らしの学びあい講座「マラソンレッスン」担当:戸嶋

(1) ねらい

- ①公民館に比較的足を運ぶ機会の少ない青年・壮年期の男女を中心に、親子も対象とし、講座を通して、地域の交流及び仲間づくりの機会とする。
- ②コロナにより運動不足になっている方も含め、運動習慣づくりのきっかけとする。
- ③下川淵公民館から玉村町公民館までを往復するコースを走り、折り返し地点の休憩所として玉村町公民館を利用し相互交流の一助とする。

(2) 概要

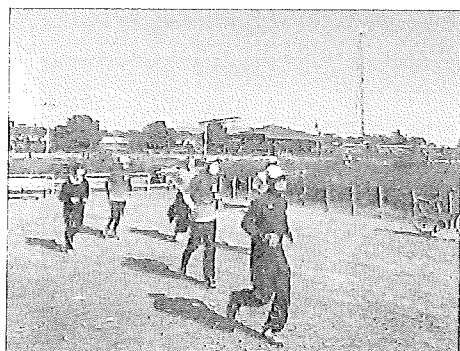
下川淵地区住民を対象（地区外でも可） 館報および地区内回覧チラシ、ホームページ、フェイスブックで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者（敬称略）	人数
1	10/31（土） 9:00～11:00	走り方のポイントレッスンと 近隣公園を試走	講義・ 実習	群馬TFランニングクラブ	14
2	11/21（土） 9:00～11:00	周回コースのペース走	講義・ 実習	群馬TFランニングクラブ	15
3	12/ 5（土） 9:00～11:30	玉村町公民館までの往復 14 キロ走	講義・ 実習	群馬TFランニングクラブ	10
	動画	マラソンレッスン動画	視聴	群馬TFランニングクラブ	

(4) 評価と反省

昨年度から3回目の講座を実施したが、過去の講座に参加した方も多く、仲間づくり、運動習慣づくりに一定の成果があった。3回目は、玉村町公民館の協力を得ながら、楽しい講座が実施できた。今後は、自主グループ化についても検討していきたい。なお、1回目の講義・実習風景の動画をYouTubeに掲載し、対面講座に加え、動画によるオンライン講座としても位置づけ実施した。



公園内を周回



玉村町公民館での休憩



マラソンレッスン動画

「コーディネーショントレーニング」 担当:戸嶋

(1) ねらい

- ①外出する機会が減少する中、密にならず皆で集まって頭と身体を使い、心身のリフレッシュを図るとともに、地域の交流の場とする。
- ②地域おこし協力隊に講師を依頼し、地域への周知を行うことにより、更なる地域づくり活動の推進の一助とする。

(2) 概要

下川淵地区住民を対象。館報および地区内回覧チラシ、ホームページで募集

(3) 内容

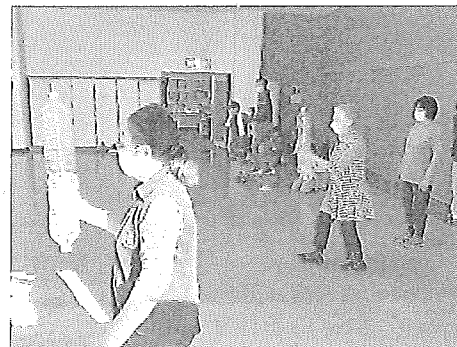
回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師	人数
1	10/24 (土) 13:00~14:30	脳トレじゃんけんゲーム、テニスボールゲーム、ペットボトルリレー、コーンを使ったゲーム、ウォーキングミニレッスン	講義・実習	地域づくり分野地域おこし協力隊橋本大介氏	32

(4) 評価と反省

地域おこし協力隊の橋本氏に講師を依頼し、目新しい講座を提供することができた。子供から年配の方まで、楽しみながら、脳と身体トレーニングを行った。今回は、協力隊の周知の意味もあり、一回のみの開催であったが、次回は継続的に実施し、地域づくりと健康づくりの一層の推進を図りたい。



じゃんけんゲーム



ペットボトルリレー

YouTube 動画講座「おうちでリフレッシュ」 担当:戸嶋、渡根木

(1) ねらい

- ①外出自粛の中、自宅でできるエクササイズを学び、各自取り組んでもらうことで、心身のリフレッシュ及び健康増進を図る。
- ②公民館に集うことができない中で、講師や参加者同士とのやり取りをメール等を行うことにより、コミュニケーションを図る。
- ③ネット上の動画を使った新たな講座に対し、地域の中高年の方にも慣れてもらう機会とする。

(2) 概要

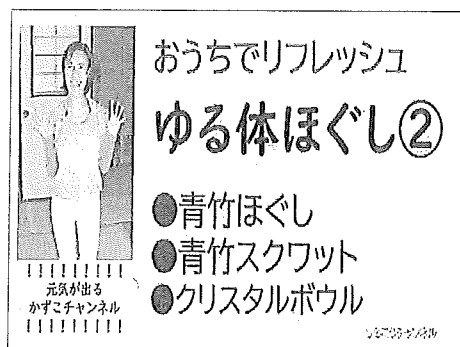
- ①対象 市内在住在勤の方
- ②周知方法 地区内へのチラシ回覧、Facebook、市ホームページ

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(継承略)	組
1	動画を視聴しながら随時	おうちでヨガ	視聴・実習	中村 和子 ヨガインストラクター (下川淵公民館自主グループ「リフレッシュ」講師)	—
2	動画を視聴しながら随時	お家でエクササイズ	視聴・実習	桑原 一美 エアロビインストラクター (下川淵公民館自主グループ「キラキラスマイル」講師)	—

(4) 評価と反省

動画を視聴する講座で、アンケートの回収が19件、その他口頭での聞き取りで数人から感想を聞くことができた。動画は、物珍しさもありおおむね好評であったが、「みんなで集まってやりたい」という声も多く、動画の視聴だけでは十分な内容になることは難しいことが分かった。併せて動画のDVDでの頒布の要望も多く、年齢に応じた対応が必要であることも感じた。



おうちでヨガシリーズ



エクササイズシリーズ

YouTube 動画講座「おうちで町中華ごはん」 担当:戸嶋、渡根本

(1) ねらい

- ① 公民館での講座が一部実施できない状況の中、家庭で専門店の料理のノウハウを学ぶ機会とする。
- ② 親子や家族で取り組んでもらい、自分で料理を作る楽しさを知ってもらう機会とする。
- ③ 地域の専門店の講師を依頼することで、郷土愛の醸成や地域の魅力発信の一助とする。

(2) 概要

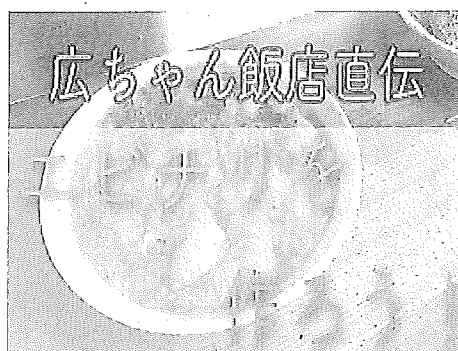
- ①対象 一般
- ②周知方法 館報、市ホームページ、Facebook

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	協力者(継承略)	組
1	動画を視聴しながら随時	広ちゃん飯店の「レバニラ」「エビチリ」	視聴・実習	広ちゃん飯店 店員	—

(4) 評価と反省

中華料理店での撮影のため、家庭での再現は難しいものの、調理のコツや調理の様子をじっくり見ることができ、楽しく動画を見られたという意見が多かった。また、地域のお店を知ってもらう機会となったため、今後も地域のお店に協力をいただきながら、同様な動画の作成を進めていきたい。



エビチリを作ろう



レバニラを作ろう

YouTube 動画講座「下川淵グリーンウォーキング」 担当:戸嶋、渡根木

(1) ねらい

- ①健康増進課作成のウォーキングマップの紹介に加え、地区の街路樹の説明や四季折々の花々の画像も加え、緑をきっかけにウォーキングをしてみたいとなる仕掛けとする。
- ②地区外の方にも、下川淵地区について知ってもらう機会とする。

(2) 概要

- ①対象 一般
- ②周知方法 館報、市ホームページ、関係者へのチラシ配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	協力者(継承略)	組
1	動画を視聴しながら随時	油田掘季節の花見コース	視聴・実習	持田みね子 生涯学習奨励員	—
2	動画を視聴しながら随時	利根川ジャングル冒険コース	視聴・実習	持田みね子 生涯学習奨励員	—

(4) 評価と反省

普段見慣れている場所の街路樹や草木について解説をしながら歩く内容と、普段通らない利根川沿いの道を歩く内容の2つの動画とし、地域の方のみならず、他の地域の方に下川淵地区の魅力を発信できる内容とした。コースを実際に歩く講座も今後開催してみたい。



油田掘季節の花見コース



利根川河川敷探検コース

下川淵小学校PTA連携事業 担当:戸嶋

(1) ねらい

- ①コロナウイルスにより様々な体験活動が減少している中、主体的にものづくりに取り組み契機とするとともに良好な親子関係を築くきっかけとする。
- ②下川淵小学校PTAとの連携事業とし、地域づくりの一助とする。

(2) 概要

下川淵小学校児童を中心とし、小学校へのチラシ配付

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者 (敬称略)	人数
1	7/5 (日) 9:00~11:00	親子でのマスク作り	講義・実習	下川淵小学校PTA	32
2	10/17 (土) 9:30~11:30	シフォンケーキ作り	講義・実習	下川淵小学校 PTA	16
3	11/14 (土) 9:30~11:30	エコバック作り	講義・実習	下川淵小学校 PTA	14

(4) 評価と反省

コロナの影響により、PTAが例年行っている活動が思うようにできない中、公民館と連携をし、人数を絞りながら、会場設営にも留意し、新しい事業として実施した。PTAの自主性を十分尊重しつつ、今後も連携を継続し子供たちへの社会教育を進めていきたい。



マスク作り



シフォンケーキ作り

下川淵いきいき生活講座 担当:後藤

(1) ねらい

- ①長寿社会へ楽しく生きがいのある生活を送るためのきっかけづくり。
- ②地域社会での仲間づくりの場、世代間交流のヒントや積極的に地域活動に参画できる手がかりとする。
- ③地域の歴史から人権意識の向上を図る。

(2) 概要

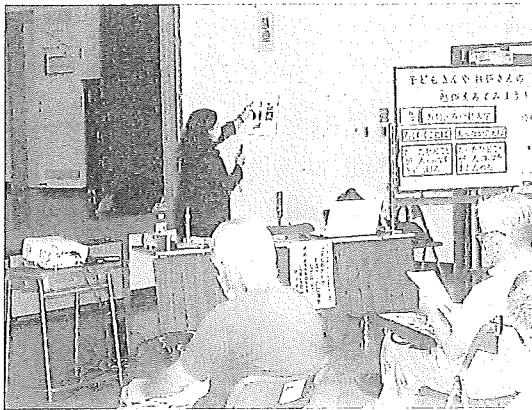
- ①対象 地区在住の60歳以上の方
- ②周知方法 公民館報、地区老人会の協力、ホームページで募集

(3) 内容

回	月日・時間	学習主題・内容	学習方法	講師・協力者(敬称略)	人数
1	8/11 (火) 10:00~11:30	学び講座 「子どもさんやお孫さんの勉強をみてみよう」	講義	群馬医療福祉大学 社会福祉学部 時田 詠子 教授	17
2	8/25 (火) 10:00~11:30	健康講座 「夏バテと熱中症へ注意しましょう」	講義	群馬ヤクルト販売株式会社 健康教室講座 講師	20
3	9/15 (火) 10:00~11:10	落語おもしろ講座 「笑いでストレス発散を」	講義	前橋社会福協議会 芸能ボランティア 風香亭 粹楽 氏	20
4	9/30 (水) 10:00~11:30	医療講座 「命をつなぐ人工呼吸器」	講義	群馬パース大学 健康科学部 臨床工学科 近土 真由美 講師	23
5	10/16 (金) 10:00~12:00	人権講座 「身近な生活の中に大切な人権あり-人のいたみを知ることが人権の基本-」	講義	民俗研究家 酒井 正保 氏	21
6	12/18(金) 9:30~11:00	地域しめ縄講習会	実習	地域協力者	8

(4) 評価と反省

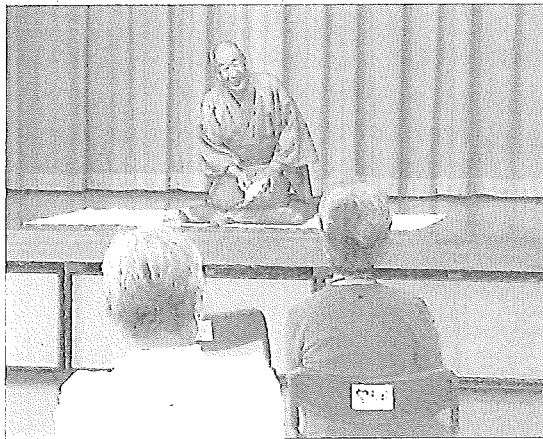
高齢者を対象とした本講座は、農業従事者の参加が多いこともあり、農閑期に入る11月から2月にかけて、例年開催していた。しかし本年は、感染症の流行により、寒い時期の開催では、参加が難しくなると考えられ、6月の高齢者の外出自粛の解除を機会に、開催時期や参加人数を考慮し実施した。変更を行ったが、参加者は、各回とも募集定員をほぼ満たし、今後の開催する際の参考となった。講座内容としては、新型コロナウイルスが、社会生活に大きな影響を及ぼしたことにより、健康や家族との向き合い方、年中行事の学習等をテーマに講座を企画した。講座後のアンケートでは、「学びを得ることができた」や「今後の生活に役立てたい」などの結果が得られ、学習講座の目的は、達成できたと考えられる。



8/11 学び講座 「子どもさんやお孫さんの勉強をみてみよう」



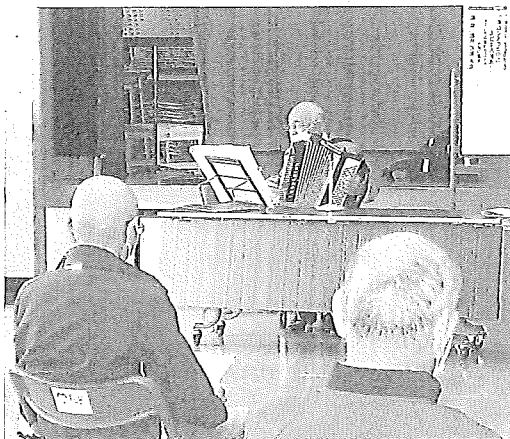
8/25 健康講座 「夏バテと熱中症へ注意しましょう」



9/15 落語おもしろ講座 「笑いでストレス発散を」



9/30 医療講座 「命をつなぐ人工呼吸器」



10/16 人権講座 「身近な生活の中に大切な人権あり一人のいたみを知ることが人権の基本」



12/18 地域しめ縄講習会

人権 担当:戸嶋・後藤

児童・生徒の人権教育に係る標語の活用

(1) ねらい

人権意識の向上と啓発

(2) 概要

地区内の小中学校の児童と生徒が発表した人権教育に係る標語を活用

(3) 内容

発表した標語を12月の国の「障がい者週間」及び「人権週間」に合わせ、12月号から3月号の公民館報に掲載する。

- 12月15日号 下川淵小学校 6作品
- 1月15日号 下川淵小学校 7作品 第七中学校 6作品
- 2月15日号 下川淵小学校 7作品 第七中学校 6作品
- 3月15日号 第七中学校 6作品

(4) 評価と反省

地区内の小中学校の協力が得られたため、公民館報を活用し、人権について考える掲載を行った。公民館報は毎戸配布しており、人権に対する関心を高めるための必要な手段として、継続して実施をすることとしたい。

前橋市内巡回作品展・活動写真展―「手をつなぐ作品展」―

(1) ねらい

新型コロナウイルスの影響により、福祉イベント行事が全面的に中止となっているなか、障がい者への理解を深めるため、地域の方が集まる公民館で展示を行った。

(2) 概要

作品及び活動写真展示。外部への周知は、主催である前橋市手をつなぐ育成会が担当し、本公民館では、チラシを使うなど来館者へ案内した。

(3) 内容

①障がい者理解のための前橋市内巡回作品展・活動写真展―「手をつなぐ作品展」―9月2日～14日 下川淵公民館 ロビー

(4) 評価と反省

障がい者への理解と社会参加に向け、関係機関(前橋市手をつなぐ育成会や前橋市社会福祉協議会、前橋市等)が連携して、作品の出展とパネル展示を行った。開催時期は、公民館の利用が再開されている期間であり、公民館で活動する自主グループを中心に見学いただき、見学者から意識を広げる、よいきっかけづくりとなった。

下川淵人権週間(誰もがみんなスマイル週間)

(1) ねらい

12月の国の「障がい者週間」及び「人権週間」に合わせ、公民館で複数の事業を開催し、社会や人へのおもいやりの大切さを深める。

(2) 概要

第七中学校及び第一作業所、前橋市手をつなぐ育成会等関係団体と連携し、作品の展示と読みきかせ人形劇を開催する。周知方法は、公民館報の掲載と地区内回覧、出展をする第七中学校へ実施のお知らせ。

(3) 内容

①第七中学校特別支援学級生徒作品及び活動写真展示

②第一作業所製品を中心とした作品展示(一部提供)

以上令和2年12月15日(火)～12月27日(日) 下川淵公民館 ロビー

③令和2年12月26日(土) お話の会もここによる「よみ聞かせ&人形劇」 下川淵公民館 会議室・視聴覚室

※新型コロナウイルスの影響で、群馬県の警戒度が4へ移行し中止。

(4) 評価と反省

「障がい者週間」及び「人権週間」に合わせ、複数の事業を企画した。展示では、実際に作られたマスクやその他作品の作業風景がパネルで紹介され、多くの来館者が見学した。そしてわかりやすく学ぶことを意識し、よみ聞かせ&人形劇を計画したが、新型コロナウイルスの影響で公民館主催事業の中止が決定となり、残念な結果となった。しかし、各関係機関との連携が深められ、今後の事業展開につながる結果となった。



9/2～14 手をつなぐ作品展



12/15～27 第七中学校特別支援学級生徒作品展示

6 情報提供事業 担当:渡根木・塚越

(1)「館報下川淵」の発行

①下川淵地区全世帯及び関係機関等に配布し、住民に必要な各種情報を提供している。

②A3判両面刷り2つ折りで毎戸配布(3,464部/月)。

③公民館事業の紹介、前橋市からの情報、各種団体事業の紹介などを掲載し、毎月15日発行している。例年は特別号(文化祭)の発行も行っているが、令和2年度特別号は休刊。

(2)ホームページ・フェイスブックを活用した情報提供の充実

最新の情報を提供するため、ホームページの更新(必要に応じて随時更新)、フェイスブックによる情報提供を行っている。

(3)「下川淵アイアイ」の発行

①毎月1日発行(平成14年5月創刊)、特別号発行(市民運動会、文化祭)

※新型コロナの影響で地域行事が減少したため、5月と2月は休刊

②A3判両面刷りで毎戸配布(3,464部/月)

③発行:「下川淵アイアイ編集委員会」発行責任者:自治会連合会長

下川淵地区の「自治会連合会だより」「青健だより」「社協だより」を統合し、各種団体や下川淵小・七中の事業の紹介、地域の話題などを掲載。公民館が事務局となり、月1回編集会議を開催。編集委員は各種団体から選任され、記事作成を行う。